

第 73 回日本東洋医学会学術総会

寄付趣意書

第 73 回日本東洋医学会学術総会
会頭 栗山 一道
(医療法人素心庵 栗山医院 院長)

ご挨拶

各位

2022年9月吉日

皆さまにおかれましては、ますますご清栄の段、お慶び申し上げます。また、平素より日本東洋医学会の活動に対しまして、格別のご支援、ご高配を賜りまして、誠にありがとうございます。

来たる2023年6月、第73回日本東洋医学会学術総会を福岡で開催する運びとなりました。本総会は当初2022年6月に開催予定でありましたが、世界的な新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行の煽りを受け、1年遅れでの開催となりました。ただし、さらに1年先の状況が先行き不透明なことを踏まえ、福岡国際会議場での発表を、インターネットを介して配信する、いわゆるハイブリッド形式にて開催することと致しました。当総会では前例のない開催形式ではありますが、「万物に陰陽あり」であります。リアルとオンラインそれぞれの強みを生かし、消極的なハイブリッドではなく攻めのハイブリッドを目指して鋭意準備を進めております。

さて、西洋医学は素晴らしい発展を遂げ、約200年で寿命を30才以上延ばすことに成功しました。ところが寿命を延ばすことに奔走したお陰で、「具合を良くする」という医療のもう一方の命題が、疎かになってきたことは否めません。そうであるならば、その方向性へ進むかといえ、そうでもありません。具合を良くする医療もそう簡単ではないためです。そこで漢方です。誤解を恐れずに申し上げますと、漢方には、数千年の間、具合を良くすることに奔走してきた、という姿もみ取れます。WHOの健康の定義では「健康とは身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病のない状態や病弱でないことではない」とされおり、まさに漢方は、駆逐できない病気を持ちながらの「健やか」を実現できる道筋として最も近くにあると考えます。

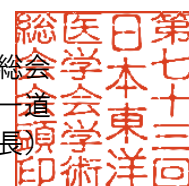
さらに、新型コロナウイルス感染症への貢献もあります。数百年前、宋の時代を精査すると、まさに現在の新型コロナウイルス感染症とも考えられる疫病の記載があり、当時の医療を垣間見ることで、現在、漢方でどのように関わられるかの研究が進行中であります。また、既に顕在化し、今後大きな問題になってくると考えられる新型コロナウイルス感染後遺症の分野には、既に多くの漢方治療が実践されております。まさに温故知新であります。

このように現代における漢方の存在価値は増すばかりであります。一方で、昨今の医療を取り巻く環境は複雑であり、漢方医学もその誹りを免れません。そのキーワードは「高齢化」、「多様化」、「複雑化」、「資源」、「流通」、「製薬」などなど、枚挙にいとまがない上、前述の通り新興感染症、つまり新型コロナウイルス感染症や、漢方医学特有の問題である生薬の生産、物流、保管の問題、さらには漢方の保険診療での位置など多岐にわたっております。これには医学会のみでは解決できない問題もありますが、とはいえ医学会が関心を持たずして解決する術もありません。持続可能な漢方医療を実現するべく、今回の総会を通して少しでもこの問題解決に貢献できればと考えております。


SDGs は時代の要請でもあります。持続可能な漢方医療を実践するためには、ふたつの柱があります。ひとつは学問としての成長進歩。これは我々医療者が研鑽、切磋琢磨して成し遂げてまいります。しかしながら、それを支えるもう一つの柱、それはそれを取り巻く良好な環境です。ここは皆さんのお力添え無くしては成り立ちません。社会情勢が大変厳しいところでもあり、既に多大のご支援を頂いている向きには重ねてともなり、大変恐縮ではありますが、是非とも本総会の開催趣旨にご理解とご賛同いただき、ご協賛のお願いを申し上げます。本来ならば、拝眉の上お願いすべきことではありますが、まずは本書面を借りてご高配とご援助の程、衷心よりお願い申し上げます。

末筆ではありますが、貴社の今後ますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

第73回日本東洋医学会学術総会
会頭 栗山 一 道
(医療法人素心庵 栗山医院 院長)



開催概要

1. 会の名称 第73回日本東洋医学会学術総会
2. テーマ あなたの漢方 わたしの漢方 ～オンリー1とナンバー1～
3. 責任者 会頭 栗山 一道（医療法人素心庵 栗山医院 院長）
4. 主催機関 一般社団法人日本東洋医学会
5. 開催日程 現地・LIVE配信：2023年6月16日（金）～18日（日）
オンデマンド配信：2023年6月30日（金）～7月23日（日）
6. 開催形式 ハイブリッド形式
開催有無・開催方式は厚生労働省および自治体のガイドラインに基づき判断いたします。また、新型コロナウイルスの感染拡大状況を総合的に判断し、延期または中止、もしくは開催内容を変更する場合がございます。最新情報は大会ホームページ（<https://73jsom.com/>）にて随時ご確認ください。
7. 開催施設 福岡国際会議場
〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1
8. 参加人数 3,000名（予定）
（内訳：内科医/800名、小児科医/200名、泌尿器科医/100名、産婦人科医/300名、外科医/300名、整形外科医 100名、薬剤師/900名、鍼灸師/300名）
9. ホームページ <https://73jsom.com/>

10. 開催目的 当学会は、1950年（昭和25年）に設立され、東洋医学に関する事業を行い、その進歩普及を図り、医学の発展並びに日本国民に止まらず広く世界の人々の健康、福祉に寄与する事を目的としております。
今回第73回学術総会を、その活動の中心にある「漢方」に東洋医学全般の意味を込め、「あなたの漢方 わたしの漢方 ～オンリー1とナンバー1～」というテーマで開催することになりました。これは医師、薬剤師、看護師、鍼灸師、漢方を学ぶ学生等への知識、技術の向上はもとより、広く一般の方々の耳にも届くよう努力し、多くの方の健康に寄与できるよう計画したものです。

11. 開催計画の概要

(1) 開催講演（予定）

会頭講演、名誉会頭講演、招待講演、教育講演、シンポジウム、
各種セミナー、本部委員会企画プログラム、市民公開講座、一般演題（口頭）、
学生発表（口頭）、共催セミナー
開催期間中：企業展示・書籍販売

(2) プログラム内容（予定）

<シンポジウム>

湯液 vs エキス剤 がちんこシンポジウム
転換期のがん診療へ漢方で切りこむ
COVID-19 もう一つの素顔 ～コロナはどこから来てどこへ行くのか～
総合診療 ～漢方で限界を超えていけ！～
あなたの知らない漢方パラレルワールド ～漢方研究会レポート 第1幕 第2幕～
救急で活かす漢方 ～急性疾患にこそ漢方を！～
整形外科 診療のパラダイムシフトを目指す！ ～こんなときは漢方でしょ～
「めまい」や「耳鳴」だけじゃない ～耳鼻咽喉科領域は漢方療法の一大フィールド～
ブラックジャックのための新・漢方活用術 ～メスと漢方の二刀流～
小児心身クライシスに漢方の恩恵を
悩める泌尿器科症状と漢方の挑戦
そこに流派の壁はあるのか？ ～倦怠感を例に～
『傷寒論』再考 ～新興疫病に『傷寒論』は対応できるか～
生々流転、進化し続ける中医学のダイナミズム
生き方を見つめ、自身へのいたわりを施し、健康で幸せになるための叡智
リハビリテーション×漢方=回復と飛躍の捷径
漢方の浸透で深化する看護の魅力 ～教育から実践まで～（仮）
急性期病院で生きるキャリア：これからの漢方医
漢方臨床研究の光と影
君の虎の穴は何処だ？ ～全国漢方医養成プログラム～
医療現場のツボを探せ
（漢方）薬が効いたとは何か

<セミナー>

伝統医学臨床セミナー
薬剤師セミナー
漢方入門講座 など

12. 企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて

各種共催申込に関しまして、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「共催企業と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を公開することについて了承いたします。

13. お問い合わせ先 第73回日本東洋医学会学術総会 協賛運営事務局

〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-5 天神西通り館6F

TEL：092-715-0633 FAX：050-3730-8614 E-mail：kyousan@73jsom.com

14. 運営組織（敬称略・五十音順）

会頭	栗山 一道	医療法人素心庵 栗山医院
名誉会頭	織部 和弘	医療法人 織部内科クリニック
準備委員長	田原 英一	飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科
準備委員	井上 博喜	飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科
	恵紙 英昭	久留米大学医療センター 先進漢方治療センター
	尾崎 岩太	佐賀大学医学部 保健管理センター
	坂本 篤彦	福岡大学病院 総合診療部
	鶴 博生	鶴内科医院
	中尾 桂子	飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科
	鍋島 茂樹	福岡大学病院 総合診療部
	原田 直之	飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科
	益田 龍彦	益田クリニック
	三宅 和久	三宅漢方医院
	宮田 潤子	九州大学大学院 医学研究院 保健学部門／小児外科学分野
	宮西 圭太	医療法人秋麗会 みやにし整形外科リウマチ科
	矢口 綾子	医療法人 燦宗会 どい内科クリニック／飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科
	矢野 博美	飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科
	吉永 亮	飯塚病院 東洋医学センター 漢方診療科

寄付 募集要項

1. 名称
第 73 回日本東洋医学会学術総会
2. 用途
第 73 回日本東洋医学会学術総会 開催運営経費へ充当いたします。
3. 目標額
5,300,000 円
4. 募集対象
日本製薬団体連合会とその他企業・団体
5. お申込み方法
「寄付申込書」にご記入の上、E-mail または FAX にてお送りください。
6. 募集期間
2023 年 6 月 15 日（木）まで
7. お支払い方法
下記口座へお振込ください。
寄付入金をもちまして領収書とかえさせていただきます。
8. 寄付お振込先
銀行名：西日本シティ銀行 店名：天神支店
店番：001 口座番号：普通 3182668
口座名義：第 73 回日本東洋医学会学術総会 事務局長 田原 英一
ダイ 73 カイニホトウヨウカイガクカイガクジュツウカイ
※振込手数料は貴社にてご負担ください。
9. 税法上の取扱い
免税の処置はございません。
10. 情報公開
拠出いただきました寄付金につきまして、各社が公表することを了承いたします。

収支予算案

<収入の部>

科目	単価	想定数量	金額	適用
1 参加費		3,000	42,720,000	
(1) 事前登録 会員	13,000	1,000	13,000,000	
(2) 事前登録 非会員	14,000	180	2,520,000	
(3) 事前登録 学生	3,000	20	60,000	
(4) 当日登録 会員	15,000	1,300	19,500,000	
(5) 当日登録 非会員	16,000	470	7,520,000	
(6) 当日登録 学生	4,000	30	120,000	
2 講演要旨集販売		500	1,000,000	
	2,000	500	1,000,000	
3 共催セミナー			16,280,000	
(1) ランチョンセミナー 大会場	1,650,000	2	3,300,000	
(2) ランチョンセミナー 中会場	1,320,000	4	5,280,000	
(3) ランチョンセミナー 小会場	1,100,000	4	4,400,000	
(4) スポンサーセミナー	1,650,000	2	3,300,000	
4 商業展示			5,665,000	
(1) 企業展示	220,000	25	5,500,000	
(2) 書籍展示	33,000	5	165,000	
5 広告掲載費			3,135,000	
講演要旨集				
(1) 表4(裏表紙)	550,000	1	550,000	
(2) 表2(表紙裏)	440,000	1	440,000	
(3) 表3(裏表紙裏)	440,000	1	440,000	
(4) 後付1ページ	99,000	5	495,000	
(5) 後付1/2ページ	55,000	10	550,000	
ホームページバナー	110,000	6	660,000	
6 補助金・助成金			6,200,000	
(1) 日本東洋医学会	5,000,000	1	5,000,000	
(2) 日本漢方生薬製剤協会	700,000	1	700,000	
(3) 福岡観光コンベンションビューロー	500,000	1	500,000	
7 寄付金			5,300,000	
(1) 病院、企業、個人等	300,000	1	300,000	
(2) 日本製薬団体連合会	5,000,000	1	5,000,000	
合計		80,300,000		

<支出の部>

科目	金額(税込)	適用
I 事前準備	20,916,201	
1 事務局	4,820,279	
2 一般準備	886,000	
3 通信運搬	2,780,800	
4 広報	2,119,700	
5 プログラム	348,900	
6 スポンサー	394,020	
7 制作物	9,566,502	講演要旨集制作を含む
II 当日運営	48,018,684	
1 会場関連	9,574,010	
2 当日運営要員	4,146,200	
3 映像機材・音響・配信	21,561,527	
4 看板装飾・施工	3,433,100	
5 商業展示	767,173	
6 会議用備品・その他	3,983,284	
7 会議用料飲	950,950	
8 招聘・宿泊関係	3,602,440	
III 事後処理	436,000	
1 事務処理	176,000	
2 会計処理	260,000	
IV 全体進行管理費	5,929,116	
V 本部からの前渡金返戻	5,000,000	
合計	80,300,000	

申込締切：2023年6月15日（木）

申込先：kyousan@73jsom.com

FAX:050-3730-8614

第73回日本東洋医学会学術総会
寄付申込書

お申込日： 年 月 日

第73回日本東洋医学会学術総会 御中

第73回日本東洋医学会学術総会の趣旨に賛同し、
開催資金として下記金額を寄付いたします。

¥ _____

◆お申込者情報

フリガナ			
貴院名 貴社名 ご芳名			
部署		役職	
ご担当者			
ご住所	〒		
TEL		E-mail	

◆お振込み時期： _____年 _____月 _____日